

団体名	大妻女子大学国際センター						
事業名	世界珍茶へのアプローチ茶会						
実施期間	令和5年10月28日(土)、11月4日(土)、11月11日(土)						
場所	大妻女子大学多摩キャンパス						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	8	21	0	32	4	18	83名

<実施内容>

- ◆日時◆10月28日(土)11:30~16:00
11:30~12:00 ミニ講座・試飲「鴨屎香」の美味しい入れ方
12:00~13:00 留学生を囲む喫茶サロン
13:00~14:00 講演・試飲「世界珍茶」中国の金花伏苓茶、酸茶と日本の碁石茶
14:00~15:00 ミニ講座・茶芸実演・試飲「金花伏苓茶」美味しい入れ方
15:00~16:00 ミニ講座・試飲「プーアル茶」の解き方と美味しい入れ方
- ◆日時◆11月4日(土)13:30~15:00
13:30~14:15 講演：喫茶の国際交流「カザフスタン、ブータンの喫茶」
14:20~15:00 茶芸実演・試飲「一年茶三年薬七年宝」所謂古ければ古いほどよいと言われる「白茶」
- ◆日時◆11月11日(土)13:30~15:00
13:30~14:15 講演：少数民族珍茶中国の「烤茶」と日本の「ハンズ茶」
14:20~15:00 世界珍茶「千年古樹茶」千年の樹齢を超える茶芸実演・試飲

<記録写真>



珍茶の展示
貴重な固形茶の説明を聞く参加者



講演：喫茶の国際交流
「カザフスタン、ブータンの喫茶」



中国茶芸
美味しいお茶を、心豊かな気分で嗜む

留学生 (T.Xさん：中国)

中国では、普段から温かいお茶を飲みます。冷たいお茶はありません。日本で生活してお茶文化の違いを知りました。こういった日常生活の違いを地域住民の方と交流できたことは、とても勉強になりました。講師の先生は二人とも中国出身で日本に長く住んでいる方だったので、地域住民の方にも私たちにもよくわかる説明だったので、たのしく交流できました。

地域住民 (S.Tさん：多摩市)

茶について、香りを楽しんだり、作法を大切にしながら飲むといったゆったりとした空間で学ぶことができよかったです。また、中国は健康管理にお茶を取り入れている話を聞き、薬に頼りすぎる生活をしているので、身近なお茶が医学に通じているという点が興味深かったです。

英語名称 (英語版作成用)

団体名	Otsuma Women's University International Center
事業名	Approaches to rare teas of the world